

# 第二回入試説明会

一橋大学大学院経営管理研究科  
金融戦略・経営財務プログラム  
(HUB-FS)

プログラム・ディレクター  
伊藤彰敏  
一橋大学・教授

2018年8月29日一橋講堂

HUB |  HITOTSUBASHI  
UNIVERSITY  
BUSINESS SCHOOL

## 金融戦略・経営財務プログラム設立の背景



- 一橋大学は、140年の歴史の中で、産・官・学のリーダーを輩出
- ビジネスのグローバル化が進む中、**確かなファイナンス知識を備えたリーダーの育成が社会的要請**



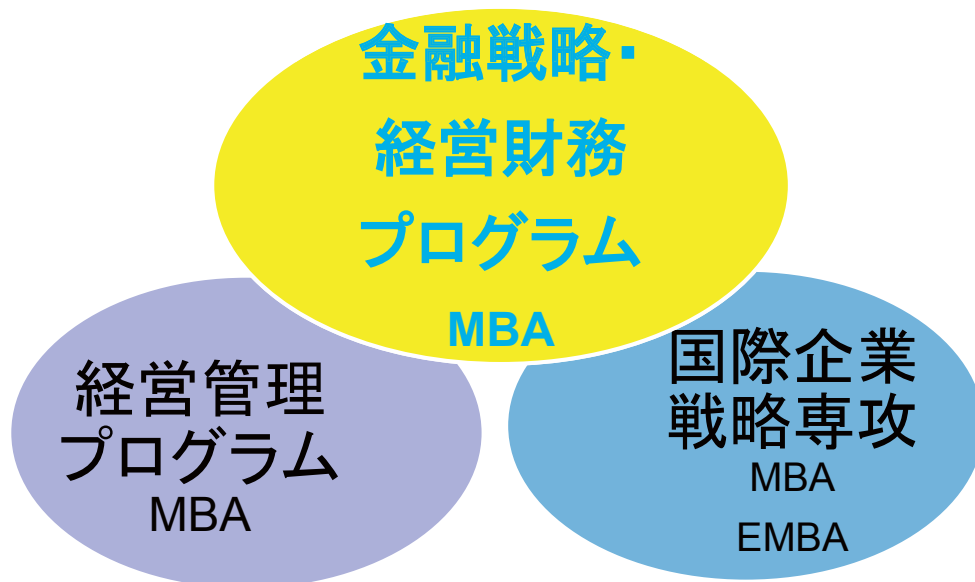
2000年、東京都心に、一橋大学大学院国際企業戦略研究科を創立。

- 日本の金融の中心、東京・大手町や丸の内に近い千代田キャンパスに校舎を構える

さらなる社会的要請を受けて...

2018年4月 東京都心に...

# 一橋大学経営管理研究科開設



## 金融戦略・経営財務プログラムのコンセプト

- **ファイナンスとデータサイエンスの高度な知識を軸に、世界で戦えるビジネスリーダーの育成を目的。**
- **社会人向け夜間プログラム(MBA)を提供**
  - グランド・フレームワークを学習
  - 徹底的に計量分析能力を訓練
  - ビジネスリーダーとしてのマインドセットを育成

# 学期・開講時間

- 春(4-5月)・夏(6-7月)・秋(9月半-10月)・冬(11月-1月半)学期の4学期制。
- 平日夜18:20から2コマ(1コマ105分)、1週間におよそ10-12コマの授業や演習を提供。
- 土曜授業科目、夏期・春期休業中に集中講義を実施。

	月	火	水	木	金	土
日間	〈勤務時間〉					集中講義 など
夜間	1時限		18:20-20:05			
	2時限		20:15-22:00			

# 修了までの流れ

## STEP1: 基礎力の堅固性獲得

【基礎科目群8単位以上履修】

「知識ベース」や「フレームワーク」を修得

## STEP2: 専門性の追求

【専門科目群18単位以上履修】

実務上の課題や興味、目的から選択した分野の専門性を高めていく

## STEP3: 修士論文指導とゼミ

【演習8単位以上と論文作成】

修士論文作成

# 実務との接点を強化：寄附講義・共同講座の設置

- 2014年
  - 株式会社キーストン・パートナーズ寄附講義「キーストン・パートナーズ 企業再生の実践」設置
  - ニッセイアセットマネジメント株式会社寄附講義「ニッセイアセットマネジメント資産運用論」設置
- 2015年－2018年
  - KPMG FAS寄附講義「M&Aと事業再生の実践」設置
- 2017-2018年
  - フロンティア・マネジメント寄附講義「FinTechと金融市場」設置
  - ブロードバンドタワー寄附講義「FinTechとイノベーション」設置
- 2018年
  - QUICK共同講義「金融データリテラシーI・II」開設
- これらの寄附講義・共同講座では、企業の協力を得て、**第一線の実務家講師陣**による授業が行われます

## 一橋大学経営管理研究科新設

- 金融戦略・経営財務コース(ICS-FS)は、「金融戦略・経営財務プログラム」(HUB-FS)へと名称変更
- 日本のビジネスシーンにおける**ファイナンス力(金融・経営財務)**の強化を目指す
  - 先端的な研究成果の蓄積
  - FinTech、AI、IoT分野の強化
  - M&A、コーポレートガバナンス、資産運用、リスク管理分野の強化

# 金融戦略・経営財務プログラムの直近フォーカス

- フィンテック最前線をカリキュラムにいち早く取り込む
  - 一橋大学大学院フィンテック研究フォーラムによる研究会、カンファランス、海外視察、研修、共同研究の実施
- 企業成長を支援するパートナーとしてのCFO人材を育成する
  - CFO関連講座の充実

## 2017年『MBAチャレンジ 金融・財務』 (中央経済社)を出版、発売中!!

- 第I部 企業の経営戦略—企業価値評価とROE経営—
- 第II部 企業と資本市場—金融仲介と株式市場—
- 第III部 企業の財務リスク戦略—デリバティブとリスクヘッジ—
- 第IV部 金融データ分析—金融におけるデータ革命—
- 第V部 金融の新展開—金融イノベーションと職業倫理—

## 本プログラムの講義エッセンス を収録



# 厚労省による専門実践教育訓練給付金の対象プログラムです！

- 専門実践教育訓練給付金
  - 2年間要件を満たし続ける事で**最大 938,620円**が給付
  - vs 入学金 282,000円＋年授業料535,800円
- ただし申込みは、入学前の一回きり。入学までに最寄りのハローワークで手続きを完了する必要がある。
  - 詳しくはHUB-FSのホームページの下記URLで

<http://www.fs.hub.hit-u.ac.jp/news-event/2018/05/post-45.php>

## 入試スケジュール

- 年2回の募集(秋期と冬期)を行いますが、募集人員は合せて41名とします。
  - 入試スケジュール(HPに掲載)

事項	経営管理研究科 修士課程 経営管理専攻 経営学修士コース 金融戦略・経営財務プログラム	
	秋期募集	冬期募集
出願期間	平成30年10月1日(月) - 10月5日(金) (10月5日消印有効)	平成31年1月11日(金) - 1月17日(木) (1月17日消印有効)
第1次試験 (書類審査) 結果通知	平成30年11月9日(金)以降	平成31年1月30日(水)以降
第2次試験 (口述試験)	平成30年11月18日(日)	平成31年2月3日(日)
合格発表	平成30年11月26日(月) 13:00-	平成30年2月14日(木) 13:00-

\* 経営管理プログラムと入試日程は同じです。

# 出願書類について

- 入学志願票
  - 受験者の学歴・履歴等
- 卒業(修了)証明書・成績証明書
  - 出身大学(学部)を含め、学位を取得したすべての大学(例、修士号、博士号)について提出
- 在職証明書
  - 現在、そして過去の勤務先について提出
  - 取得が困難な場合は、研究科事務室に問い合わせる

# 出願書類について(続き)

- 評価報告書
  - 現在あるいは過去の職場の上司、大学の指導教員などに作成を依頼。
  - 依頼が困難な場合は、ご自身で作成いただいで構わない。
- 研究計画書
  - 志望動機、学位論文のテーマ、基礎知識などを記載
  - 希望する指導教員を記載

# 研究計画書の書き方：ここがポイント！

- 研究計画書の構成
  - 第1章 志望動機
  - 第2章 修士論文のテーマ
  - 第3章 基礎知識
  - 第4章 希望する指導教員

## 第1章 志望動機

なぜ、いま、ここで学び研究したいのか？ 修了後のビジョンは？ 修了後ビジョンは、自分のキャリアと社会的役割を念頭に述べて下さい。

Q1.あなたが金融戦略・経営財務プログラムを志望した動機や背景を説明してください。これまで学生時代や実務において経験したことや達成したことを具体的にとりあげながら、あなたの問題意識や目標を説明してください。

Q2.金融戦略・経営財務プログラムで学ぶことが、どのようにあなたの問題意識の解決や目標の達成につながると考えていますか？プログラムのカリキュラム内容に関係づけながら、具体的に説明してください。

Q3.あなたが現在の職業を選んだ理由、また金融戦略・経営財務プログラムを修了後の構想を説明してください。

**動機**...これまでの実務経験から得た事、足りないもの、ここで得られるものを整理して具体的にアピールしてください。

**達成・解決**...実行力を見ています。



# 第1章 志望動機(続き)

Q4.これまでの経歴において達成したこと、得意とするもの、金融戦略・経営財務プログラムに自分が如何に適しているかなど、自分で申告したい事柄を自由にお書きください。

Q5.変革期にある現代、これから世界はどのような方向に向かって行くのか、その中で日本はいま抱える問題をどのように解決して行けば良いのか、そしてその場であなたはどのような役割を担いたいと考えるのか、お考えを簡潔に論じてください。

Q6. 音楽、絵画、彫刻、建築、文学、哲学、スポーツ等、あなたが興味を持ち、評価するものがあれば、簡潔に記してください。

Q4、5、6.....リーダーの資質、教養について聞いています。アピールする事があればお書きください。

# 第2章 修士論文のテーマ

研究テーマと背景、論点、方法、意義を述べて下さい。

Q1. 修士論文のテーマについて、解明・解決したい理由と背景を具体的に説明してください。

Q2. 修士論文のテーマについて、既存研究の文献調査やデータ収集などの調査をどの程度行ってきたか、説明してください。これまでに読んだ参考文献があれば、その文献名を具体的に記載してください。

Q3. 解明・解決したい内容について、

(1) 修士論文のテーマについて何を解明・解決したいのか

(2) その問題にどのように取り組めば良いと考えるか

(3) この修士論文の成果をどのように利用することができるのか、を具体的に説明してください。

## 第2章 修士論文のテーマ(続き)

### <評価ポイント>

- テーマの設定や論点がユニークか、方法についてどの程度考えられているかという点を見ています。
- 研究テーマの研究意義として、計画している研究がご自身の業務や関心事に対し、どの位貢献できるか説明できることは重要です。
- Q2の準備状況は入学前ですので、完了している必要はありません。

## 第3章 基礎知識

研究を行うための基礎力や、学習に対する姿勢を述べて下さい。

Q1. 修士論文を完成させるために、今後読まなければならないと思っている参考文献をあげ、それらから具体的に何が学べると考えているか、簡単に説明してください。また、修士論文の作成に必要なデータ・ソフトウェア・設備などがあれば、具体的に説明してください。

Q2. これまでに学術雑誌や本に掲載された著作物がある場合には、それらの題目と要約を記し、本文を研究計画書に同封し提出してください。

→なくてOK、ある方だけお出しください。

## 第3章 基礎知識(続き)

Q3. 英語力について。海外勤務や留学経験、また英検・TOEFL・TOEIC等の受験実績について記してください。英検やTOEICなどを受験している場合には、その点数を書き、可能ならば得点表のコピーを同封して下さい。

Q4. 数学、統計学、データ分析についての学習状況を記してください。これまでに学部や大学院で勉強したことがあれば、科目名や成績、教科書名などを記載してください。

Q5. 金融、会計学、経済学についての学習状況を記してください。これまでに学部や大学院で勉強したことがあれば、科目名や成績、教科書名などを記載してください。

Q6. よく使うコンピュータ・ソフトウェアの名称とその利用方法を具体的に記してください。特に、コンピュータ言語や統計データ分析用のソフトウェアなどを利用したことがあれば、その習熟度を記載してください。

## 第3章 基礎知識(続き)

### <評価ポイント>

- 研究を行うための準備状況や基礎力を見ています。
- Q3,4,5は大学レベル以上ある方が望ましいですが、そうではない場合も、その事が理由で不合格になる事はありません。
- 入学後に入門科目などを履修して、一定レベルまで達する意欲がある方は問題ありません。

## 第4章 その他(指導教員)

ゼミ指導教員の希望とその理由を研究のテーマに照らして述べて下さい。

Q1.演習での指導を希望する教員名を挙げ、その理由を具体的に説明してください。

### <評価ポイント>

- 金融戦略・経営財務プログラムで学ぶ事について、どのくらい真剣に検討したかを見ています。
- 希望した教員が二次試験(口述)を担当する可能性が高いです。
- ゼミ教員は入学後に改めて決定しますが、出願時から変更することに問題はありません。

ご清聴ありがとうございました！